

中国地方各地から、積極的に活動するNPO団体を紹介するこのコーナー。今回は鳥取県鳥取市で、ポニーとの関わりを通じ子どもたちの成長を支える「ハーモニカレッジ」を紹介します。

# 大自然の中で 優しさと勇気を育む とおきのキャンプ

鳥取県鳥取市にある空山ポニー牧場。ポニーと触れあうことで、子どもたちの思いやりや自主性を育てているのが「ポニーキャンプ」です。青少年活動に長く取組む、認定NPO法人「ハーモニカレッジ」の理事長、大堀貴士さんにお話を伺いました。

鳥取県 認定NPO法人 ハーモニカレッジ

## 子どもたちの心を育む、空山の大自然でポニーと過ごすキャンプ

鳥取市にある空山ポニー牧場では春休み、GW、夏休みと年に10数回、「ポニーキャンプ」を実施。2泊3日から5泊6日のキャンプには小学生から中高生までの参加者が集まり、毎回予約がすぐに埋まってしまふほどの人気です。「リピーターが約8割で、初めての参加者にはリピーターの子がいろいろ教えてくれるんです。それがこのキャンプの面白いところ」と、キャンプを主催する「ハーモニカレッジ」理事長の大堀さん。ポニーに乗るにはコミュニケーションが大切で、上手に乗るためにはどうしたらいいか、回を重ねるごとに子どもたちは感覚的に学び取っていきます。「ポニーも人も同じです。相手に動いてもらうためには自分がまず変わる。子どもたちが自発的に掃除をしたり餌やりをし始めるのは、ポニーをもっと知

りたいという気持ちの表れです。スタッフのほか、『カウンセラー』と呼ばれる大学生ボランティアが、子どもたちを見守ってくれます。決まったプログラムはなく、参加者が自由にやりたいことをやれるというのもこのキャンプの特徴。牧場を見渡すと、楽器を弾いている子、掃除をしている子、裏山を探検している子、ランチをつくるカウンセラーを手伝っている子、中には「今日はポニーには乗らない」という子もいます。「ポニーキャンプではあるんですが、ポニーに乗るキャンプではなくポニーがいるキャンプですね。みんなで何かをする時には話し合いで決めますが、そんな時に子どもたちが自分の思いをしっかりとアウトプットできること。その環境をつくるのが僕たちの仕事だと思っています」。



人懐こい犬のナナちゃん。牧場で出迎えてくれます。



引退したポニーとも裏山で遊んだりします。



今日のランチは野菜たっぷりきつねうどん。ちなみに、うどんのおあげは朝から仕込む本格派。食事担当のカウンセラーのもと、自然に子どもたちがお手伝いを始めます。

### 子どもたちに寄り添うカウンセラー



カウンセラーは子どもたちの伴走者。自発的に動く子どもたちを隣で支える存在です。地元大学生と関西の大学生で構成。中には小学生の頃からキャンプに参加し、そのままカウンセラーとなった子もいます。

## 子どもたちに嬉しい変化をもたらしてくれるポニーとの暮らし



以前は不登校など悩みを持つ中高生対象の「寄宿塾」をやっていました。一緒に生活しながらポニーの世話もするのですが、その中で、子どもたちにポニーを守る気持ちが生まれ、力や自信を取り戻し、夢や目標を見つけていく様子を見てきました。子どもたちはポニーから多くを学びます。そんな体験をより多くの子どもたちにしてもらえるのがこの空山ポニー牧場。子どもたちの「居場所」であり続けたいと思っています。

認定NPO法人 ハーモニカレッジ  
理事長 大堀 貴士さん



当番はないけど、ポニーを好きになると自然とお世話をしたくなる! 馬房や馬場をお掃除します。



手放してバランスをとるトレーニング。カウンセラーにサポートしてもらって少しずつ慣れていきます。

自由にのびのびと過ごす

## ポニーキャンプの1日



真剣に乗馬に取り組む子どもたち。ポニーの気持ちになって伝えることが大事だそう。



ポニーと触れ合うことで、心から癒されて、楽しんでいることが笑顔からも伝わります。



アフリカの打楽器「バチカ」の練習中。読書をしたりギターを弾いたり。何をすることも自由!がこのキャンプの魅力。

### ポニーと仲良くなりたい! 餌やり・掃除も自発的に

ポニーを好きになるともっと知りたくなって、子どもたちが自発的に餌やりやお世話を始めます。餌は干し草や「ふすま」など。朝昼晩と、一頭一頭の体格や年齢、好みに合わせて内容や量を調整しているとさらに愛着が湧いてきます。※ふすまとは…小麦を粉にする時にできる副産物のこと。



ポニーに必要な栄養にも詳しくなり、まるでポニー博士!



取材協力 /  
認定NPO法人 ハーモニカレッジ  
TEL: 0858-72-2468  
http://www.harmony-college.or.jp/